

東京電力福島第一原子力発電所事故により、水道水や農林水産物から放射性物質が検出され、食品等への不安が続いています。一方、風評被害に惑わされない消費行動の呼びかけや、「食べて応援しよう」等の被災産地応援キャンペーンも取組まれています。

放射性物質の水産物への影響や東京都の取り組みについて学び、不安や疑問にわかりやすく応えていただきながら、理解を進めていきましょう。学習会が責任ある消費行動への一助となれば幸いです。

皆様のご参加をお待ちしています。

日時：2011年 7月15日（金） 10：30～12：30

会場：東京都消費生活総合センター 学習室 A（16階）

内容：①放射性物質と水産物への影響

水産庁増殖推進部研究指導課研究管理官 森田貴己さん

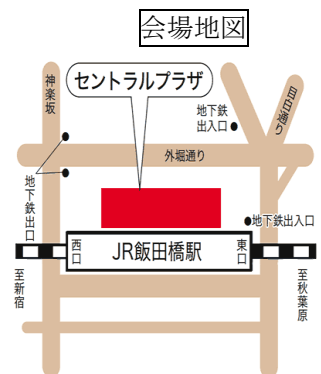
②東京都の取り組み

～農林水産物の放射能検査や都民の声に応じて

東京都産業労働局農林水産部食料安全課長 平野直彦さん

資料

- ・水産庁ならびに東京都からの資料
- ・「食品と放射能 Q & A」（消費者庁発行）



***主催 東京消費者団体連絡センター**

電話 03-3383-7991
ファクス 03-3383-7840

申し込み

〆切 7月8日(金)

所属団体名

*団体名は個人の場合は不要です。記載事項は本目的以外は使用しません。

お名前	(TEL)	お名前	(TEL)
	()		()
	()		()